

# 藤枝市教育委員会

## 平成29年1月定例会会議録(概要版)

- 1 開催日 平成29年1月25日
- 2 場所 藤枝市役所西館5階 第2委員会室
- 3 会議に附した事項 (別紙のとおり)
- 4 出席委員  
教育長 山本満博  
教育長職務代理者 大社幸子 委員 瀧下悦代  
委員 横山久男 委員 増田貴司
- 5 欠席委員
- 6 出席した事務局職員  
教育部長 大畑直巳 教育政策課長 内記秀夫  
学校教育監 小林彰 主席指導主事 海老岡正乃  
学校給食課長 中山文敏 生涯学習課長 片山豊実  
図書課長 安達剛正  
総務係長 岸本倫子 書記 興津景子

## 教育委員会 平成29年1月定例会

1 開 会 午前9時

2 会議録署名委員氏名 大社幸子委員、瀧下悦代委員

3 日程第1 諸般の報告

---

事務局

- 1 平成29年度小中学校入学式等の日程について
- 1 平成28年度特休・休職者数の報告について
- 1 藤枝市家庭学習講演会について
- 1 地元食材を使用した学校給食新メニューが完成
- 1 平成29年成人式の実施報告について
- 1 笑ってタメになる「サイエンスショー」について
- 1 蔵書点検に伴う休館について

4 閉 会 午前10時20分

# 教育委員会 平成29年1月定例会

## 日程第1 諸般の報告

教育長	これより日程第1 諸般の報告について事務局からお願い致します。
事務局	<ol style="list-style-type: none"><li>1 平成29年度小中学校入学式等の日程について<ul style="list-style-type: none"><li>●今後の行事の参考に</li></ul></li><li>1 平成28年度特休・休職者数の報告について<ul style="list-style-type: none"><li>●資料は延べ人数</li><li>精神疾患については長く、短期での復職は難しい</li><li>20代～30代の若者に多い傾向</li></ul></li><li>1 藤枝市家庭学習講演会について<ul style="list-style-type: none"><li>●「親子で考えよう わくわく家庭学習」の実践偏</li><li>講師 小田切真先生 対象 小中学生の保護者 計100名</li></ul></li><li>1 地元食材を使用した学校給食新メニューが完成<ul style="list-style-type: none"><li>● 学校給食で2月から順次提供</li><li>藤枝カラーの藤色のカレーや特産物を使ったメニュー等</li></ul></li><li>1 平成29年成人式の実施報告について<ul style="list-style-type: none"><li>● 1/8 中学校別10会場</li><li>対象者 1,463人 出席者 1,191人</li><li>出席率 81.4% (昨年より1.3%上回った)</li></ul></li><li>1 笑ってタメになる「サイエンスショー」について<ul style="list-style-type: none"><li>●ボルトボルズによる講演</li><li>整理券配布中ですが、午後の部のみ数枚の残あり</li><li>地方創生事業交付金で10/10補助</li></ul></li><li>1 蔵書点検に伴う休館について<ul style="list-style-type: none"><li>●毎年行う</li><li>全図書をICタグで読み取り管理しチェックするため</li></ul></li></ol>
教育長	その他報告はありませんか。
事務局	<ol style="list-style-type: none"><li>1 教育マイレージについて、<ul style="list-style-type: none"><li>●キャンペーンを実施（健康・環境・交通安全合同）</li><li>4つ全てチャレンジし達成すると、豪華賞品が当たる</li></ul></li><li>1 小中一貫教育のパブリックコメント<ul style="list-style-type: none"><li>●4件のパブリックコメントあり</li><li>・小中一貫教育をやるなら一体型がいいのではないかと</li></ul></li></ol>

・学区についての検討が必要ではないか  
この意見について、後検討会を開き、次回の教育委員会で報告

1 ペッパーの配置について

●本日ソフトバンクから発表

全国から応募が殺到 1000台→2000台

全国17市町が決定

藤枝市の台数は未定だが27校全校配置が決定する予定

教育長

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

委員

教職員の特別休暇取得状況ですが、先ほど詳しい説明があり理解できたのですが、やはり数が多くなっていると感じます。特に小学校が例年に比べると増え、年齢層も20代から30代と若い世代ということも気になりますが、どのような原因なのか、また精神疾患の場合は様々なものが関係してきますので、これと言ったものはないと思いますが、精神疾患で休まなければならない20代から30代の状況はどのようなものか気になります。

事務局

精神疾患については、様々な要因があり1つではないと思われませんが、主たる要因は、子どもたちとの関係がうまくいかなかったことがあげられます、ベテランの方は、子どもたちへの指導がうまく通用しないということで少し自信を失ってしまうということがありました。他にも、結婚や異動での環境の変化によるものもありますが、他地区で患いそのままこの地区に戻られた方もあります。最近ですと、親族が亡くなられたことでの疲れや心の支えを失ってしまったことで調子を崩したり、出産に関わる病気への不安から、最初は病気で休んでいたが、後に精神疾患での休みになったケースもあります。

教育長

学級経営が大変になってしまったこと、子どもたちとの関係がうまくいかなかったこと等でしょうか。

事務局

昨年度は、先ほどの説明のとおりであり、本当に力のある先生が、休まれるという状況にあります。

教育長

クレーマー対策などにより大変になったということではないのですか。

事務局

そのようなこともあると思います。特別休暇のうち、精神疾患によるものは、小学校が5人で、このうち3人は20代の2～3年目の若い教員です。原因は本当に些細な子どもとの関係なのですが、ちょっとしたことで急に不安定になってしまったためだと思います。学校でメンタルヘルスの研修を日頃から受けるという体制を作ることが大事だと思います。特別休暇を取得した5人のうち、3人がそのまま休職になってしまいました。

教育長

一人で抱え込んでしまわないように、周りに相談すれば早い内に解決するのではないのでしょうか。

委員

高洲中学校は、多忙化解消のモデル校となり研究されていますが、今回は小学校の人数が多かったが、環境的にも、今、高洲中学校でやっていることが他の学校にも浸透していくといいと思います。また体制づくりと合わせて環境を整え、先生たちが時間的にもゆとりを持って取り組んで欲しいと思います。

教育長	今、高洲中学校が多忙化解消対策の途中段階ですが、何かお話しできることありますか。
事務局	11月20日～1月20日まで2カ月間を、退勤時間の上限を決めるという試みを行いました。現在は、モデル地区だけですが、藤枝市では高洲中学校区ということで、高洲中学校、それに合わせて高洲小学校、高洲南小学校でも同じように退勤時間の上限を決め、電話応対もメッセージが流れるようにし、ある時間以降は電話連絡も控えていただくようお願いしました。 施行ではありますが、高洲地区だけではなく、他の学校もその話を聞き、同じような取り組みをしようという動きがあります。多くの学校で退勤時間を意識し、帰りの時間が早くなったということをよく耳にします。高洲中学校で、先生方が時間に対し意識するようになり、ある時間からは電話連絡がなくなり仕事に集中できるようになったという成果も見られます。緊急時の連絡等の問題もありますが、今後、多忙化解消委員会で話し合い、働き方を見直していきたいという考えが多くあるので、教職員の間で進めていきたいと思っております。
教育長	ワークライフバランスの実践により、帰りを早くし、ある時間からは電話に出ないことにより、多少は多忙化解消のよい方向に向かっているといえるのでしょうか。他にありますか。
委員	休んでいる5人の方が勤務されている学校がどのような規模の学校でしょうか。先生方の数により、小規模校では一人が多くの担当を持つので、それが負担になってしまい、休暇に関係しているのか気になります。
事務局	5名の方の小学校は、小規模校が1校、中規模校が2校、そして少し大きい学校が1校です。今年は大規模校からは出ていません。大規模校はストレスチェックが今年から義務づけられましたが、そればかりではないと思います。
委員	先生方のストレスチェックはどのような体制で現在行われているのでしょうか。
事務局	労働安全衛生法が改正されてストレスチェックが、従業員が50人以上の学校に義務づけられて、本市では青島小学校、青島中学校、高洲中学校の3校が制度よりストレスチェックを実施しています。ストレスチェックの目的は、自分自身の精神状況を把握すると同時に、管理者としては個人の状況を把握することになります。3校以外の学校について、ストレスチェックは自分で診断を進めますが、高ストレスであると判断された場合には、自分から相談機関にかかるという形をとっています。それ以外でも、日頃から教職員の健康の状況を把握していますし、年に数回ある面談で相談を受ける機会もありますので、いつでも不調を感じたら申し出る体制になっています。また公立共済組合でも、心の健康事業もあり、不調を感じたらまずは自分で相談に行くことが大事であると思うのですが、先ほどのお話もありましたが、結局抱え込んでしまい、もうダメだというときに相談に行くことが多いようです。
教育長	年間2回、校長先生との面談があります。不調があるときは申し出てもらい、校長先生からも話を聞きますので、その時に様子がよく分かると思います。その他にはいかがでしょうか。
委員	成人式に出す案内状の対象は、自治体によって違うのでしょうか。他県に、昔住んでいたことがあり、子どもに成人式の案内状が届きました。自治

体によって式の日程が違うので、子どもは両方に出席しました。ある自治体は、小学校に在籍していた生徒全員に案内状を出すそうです。住居を変えてしまうと、元住んでいたところに行くことがないので、それを機会に久しぶりに行って来ました。藤枝市は今どんどん変わっていて魅力もあるので、藤枝市から住居を移してしまった人にも案内状を送ることによって、藤枝市に来てもらう良い機会になるのではないのでしょうか。今は、条件に当てはまらないと案内状がこないというのですが、費用対効果を考えるとどうかはわかりませんが、藤枝市の小学校や中学校に在籍していた人に案内状を出すことによって、藤枝市をアピールするよい機会になるのではないかと思います。

事務局

我々もそこまで考えたことがなかったのですが、高校を卒業し大学生や社会人になる時に、藤枝市を離れる人が多いので、ご連絡いただければ通知しておりますし、直接会場に来て頂いても、名前を聞くだけで対応しています。小学校時に市内に在籍していたが他市町村に異動した方まで追跡していくとなると、その分のデータを持ち続けなければならず、個人情報の関係もあり、どのように管理していくかも問題になってきます。今回、その自治体がどのようなシステムを使っているかわかりませんが、そこまでは考えておりません。成人式でやり方を考えなければならないもののひとつに、恩師の先生方に通知し来ていただいております。恩師のご住所も我々は掴んでおらず、今までも学校を通じて、その当時の名簿等から通知を出してきましたが、最近では学校でも名簿を長く保存しなくなっており、学校といえども聞いた個人情報で通知を出すわけにはいかないのは当然のことで、通知方法についても考えています。まず、卒業時に住所を書きいただき、それを我々が数年間保存し、対象の年に通知するのがいいのではと、内部的に話をしております。ただ個人情報を、持っているからと言って簡単に出していいのかという問題もあります。提案としてはすぐ良い提案だと思うので、研究をさせていただきたいです。

事務局

ご指摘の趣旨の関係で、1.5倍（30歳）の成人式というのが全国的に流行っています。藤枝市の場合は、24歳、26歳と28歳も今年度からはじめるということで、商工会議所等が主となり、2月から3月にかけて開催されます。この1.5倍の成人式はいろんなところでやっており、ふるさとを思ってもらうこともあるのですが、結婚されていない方にはいいチャンスであり、商売をやっている方にとってはビジネスチャンスとなります。20歳では、まだ社会人になっていない方もおりますが、30歳位になると、ある程度落ち着き、今後の人生を考えるいい機会になるということで藤枝市も今年から始めます。

教育長

小学校でも1/2成人式というものもありますが、小学校以降に異動したので成人式に出られない場合もありますので、そういう形でやっているのかと思います。瀬戸谷小学校区の会場、藤の瀬会館の男子出席率が120パーセントであるのは、そういう方が出席したということでしょうか。

事務局

そういうことであると思います。学生かどうかはわかりませんが転出された方だと思います。

委員

今回は、他の地域の成人式を意識していなく、日にちや会場を調べていなかったのですが、自宅に届いた案内により、日にちがわかり行ってみたいとなったので、藤枝市に来るいい機会になるのではないかと思います。

教育長

それでは生涯学習課の方で検討させていただきたいと思います。

他にはありますか。

委員

ペッパーの件ですが、20日に授業に出ささせていただきありがとうございました。今までの想像していた授業とは違う新しい授業で、23日までにほとんどの方が参加すると思われませんが、先生方がどう捕らえて学校に入れていくのですか。また把握はこれからされていくのですか。実際には今日発表になってから、平成29年度からペッパーが学校に配布されていくということですが、配布される前に学校への投げかけ指導、配布されてからの指導はどんなふうに行っていくのか教えていただきたい。

事務局

募集をかけたのが今年の11月、ペッパーを全国に無料配布しますが希望はあるかと投げかけたときの情報がメインです。3月中には各市町、学校に配布され、今回指導をお願いした「ライフイズテック」ではなく、他の教育関連の会社をソフトバンクは使っていくとの事です。その後は、学校側に対し、3月中に一度研修を行います。全国で17市町が当選したので自治体単位であるのか、それとも全市町を東京に集めて行うのかは、まだ決まっていません。もともとは小学校3年生でもできるプログラムで、基本中学生は30分も説明すればできてしまうものなので、何日かけての研修は考えておりません。ペッパーを配置した学校が困ったときには、コールセンターにつながる体制をとっております。台数も1000台から2000台に増やし、当初予定していたよりも反響が高かったため、今後もしかしたら11月の募集の段階の状況から変更されていくことも考えられます。ソフトバンクがこの事業によりどんなメリットがあるのかということ、教育現場でペッパーがどう使われていくのか、どう使いたいのか、あげて欲しいとのことで、もしかしたら本格的なプログラムをしないと使えないケース等を認識したいと思われまます。問題は、授業でどう使うかです。藤枝中学校で行われたプログラミングの授業は、技術・家庭科の授業でしたが、小学校で総合教育の時間を使いたいと校長会の中で話がありました。その後は、できればペッパークラブ、パソコンクラブなどで、興味がある子どもが率先してやるということ、先生方も我々も期待しています。先生がすべて面倒を見て、1から10までプログラミングを作り動かすことは、この多忙化の中やるのは大変です。むしろ小学校3年生にも動かせるプログラムですので、1度やり方を覚えればやればすぐにできるので、子ども達が率先してやってくれることを期待しています。

委員

授業を拝見させていただいたときに、先生がペッパーをどうやって使おうかと悩んでいた方がいたのでその辺は課題があるのではないのでしょうか。

教育長

中学校には教科の専門の教員がおりますが、小学校の中には堪能の方もいらっしゃると思いますが専門外なので、こういった形で進めていけばいいのか、4月入る前に先生方の研修をやる必要があるのかと感じます。藤枝中学校ではICT派遣員の方が進んでやってくれるので、子どもたちも順応してやって行けましたが、果たして先生があのようにやっていけるのか心配になることもあります。

事務局

私は特に心配はないと思います。慣れてしまえばできるのではないかと思います。今回見ていただいた授業は会話オンリーで、言葉を入れればそのまま話しますので大変なことではありませんでした。ただ実用的に使うとなると、決められた言葉に決められた行動をとるならば簡単ですが、ものすごく種類ある言

葉をどう選ぶかとなるとなかなか大変なことなので、実用的に使用するには時間もかかりますが、ただ3年間という中ですので、4月1日からこのように使わなければならないという縛りはありませんので、だんだん覚えていっていただければと思っています。いつ授業をやるかというのありませんので、年度内にやっていただければ結構ですし、一般的に考えるプログラミングとはだいぶレベルの違う話です。ただ一度先生方に研修を受けて概略は覚えていただかなくてはなりませんけれどもそれほど心配はしていません。どちらかという、小学生中学生の発想力に期待したいです。

教育長 校長先生方には、AIの人工知能、自由にできるのではないかという発想があるのではないのでしょうか。どちらかという今はまだプログラミングだけです、ニュアンスが多少違っているのだと思います。

事務局 その話になると専門的になるのですが、ペッパーには何種類かありまして、営業用のプログラム、AI的なもの、学校で使用するためのもの、どういう種類が来るのかまだ発表されていません。やはり一般の方が思っているのは、AI。AIだと、ある程度プログラムできているのでそれにのっかりさらに加えていくのですが、自分の思い通りに動かないこともよくあるそうですが、それはプログラムによって形を変えられると聞いていますので、ソフトバンクとやりとりしていきたいと思います。

教育長 160台がどのように配分されるかはこれからなのですね。

事務局 一緒に今日発表されます。基本的には申請したときに、6人に1台という原則があるので、静岡ですと35人学級ですので、6台が上限になりますが、2台が予備、1クラスがプログラミング教育をやるときには、8台必要になります。当初190台を申請しましたが、その内の160台前後に決まってくるのではないのでしょうか。

教育長 小学校も中学校も平等ですね。

事務局 そうです。

委員 給食の関係で、メニューですが、子どもや家庭の方に詳しいお知らせはあるのでしょうか。またとても美味しそうですが、一般の方に知らせるということはありませんか。

事務局 献立表があり、子どもが自宅に持ち帰っています。新メニューがある時にはレシピを載せています。またホームページにもレシピを掲載しています。

委員 ホームページを見られない方もいると思うので、回覧板等に入れていただければうれしいです。

事務局 ホームページしか念頭にありませんでしたが、インターネットが見られない環境の方もおりますので、ひとつの方法として子どもに持って帰ってもらうのですが、子どもがいないが作ってみたい方の場合は、広報に掲載し、連絡いただければ、レシピを送りますというものも考えたいと思います。参考にさせていただきます。



教育長

マイレージの関係は、町内会で回覧していました。レシピも回覧に入れていただくこともできるかもしれません。

これから1月22日には生涯学習センターで「遺体」の映画もあり、2月19日にサイエンスショーも計画されています。インフルエンザもはやってきましたので、その時にピークにならないかと考えています。子どもたちにも親にも大変いいものですのでぜひ参加していただければと思っています。それでは、以上で本日の全日程を終了しましたので1月定例会を閉会します。

開 会

午前10時20分